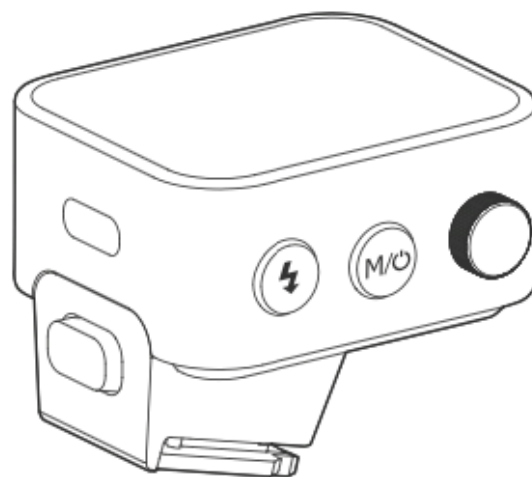


Godox



Wechat
Official Account
神牛微信公众号

深圳市神牛摄影器材有限公司

地址: 深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区厂房2栋 电话: 0755-29609320(8062)

传真: 0755-25723423 邮箱: godox@godox.com

GODOX Photo Equipment Co.,Ltd.

Add.: Building 2, Yaochuan Industrial Zone, Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District,
Shenzhen 518103, China Tel: +86-755-29609320(8062) Fax: +86-755-25723423

E-mail: godox@godox.com

godox.com

Made in China | 705-X3S000-00



X3S

TTL Wireless Flash Trigger

取扱説明書

Instruction Manual

はじめに

本製品は専門家専用の業務用撮影機器です。

本製品の使用に際しては、以下の基本的な安全注意事項を遵守してください。

本製品の使用に先立っては、貼付されている輸送保護材および梱包材をすべて取り除いてください。

1. 使用前に取扱説明書をお読みいただき、十分に理解した上でこの安全指針を厳守してください。
2. 破損した機器や付属品を使用しないでください。修理後に使用を再開する時は、事前に専門の修理技術者に検査を依頼し、正常に作動することを確認してもらってください。
3. 本製品を使用していない時は電源を切ってください。
4. 本製品は防水ではありません。水、その他の液体に浸さないでください。風通しの良い乾燥した場所に設置し、雨天、湿気の多い場所、埃の多い場所、高気温の場所での使用は避けてください。危険防止のため、本製品の上に物を置いたり、液体が流入したりしないようにしてください。
5. 本製品を許可なく分解しないでください。本製品が故障した場合は、必ず当社または当社認定の修理技術者による点検・修理が必要です。
6. 本製品を、アルコール、ガソリン、その他の揮発性溶剤や引火性ガスの近くに置かないでください。
7. 本製品を爆発の危険性のある環境で使用または保管しないでください。
8. 本製品のお手入れは、乾いた布で優しく拭いてください。濡れた布は使わないでください。
9. 本取扱説明書は厳密なテストに基づいています。設計および仕様の変更は予告なく変更する場合があります。最新の取扱説明書および製品情報は、公式ウェブサイトをご確認ください。

10. リチウム電池を内蔵した製品は、定格電圧および定格温度の範囲内で、指定の充電器を使用し、使用説明書に従ってください。

11. 本製品はリチウム電池を使用しています。リチウム電池は寿命があり、徐々に

に充電能力が低下します。電池が古くなると、製品の電池寿命は短くなります。リチウム電池の寿命は2～3年とされています。定期的にご確認いただき、充電時間が著し長くなったり、電池寿命が著しく短くなったりした場合は、電池の交換をご検討ください。

12. 未承認の修理には保証が無効になります。

13. 不適切な操作による故障は保証の対象外となります。

製品の特徴

この度はTTLワイヤレスフラッシュトリガーX3 Sをご購入いただきありがとうございます。
す。

この製品はコンパクトで重さは48g、TTLフラッシュおよびHSSをサポートし、最大
1/8000秒のフラッシュ同期が可能です。

Sonyのホットシューを搭載したカメラと互換性があるだけでなく、Godox 2.4GHzワイヤ
レスXシステムを搭載したカメラフラッシュ、屋外フラッシュ、スタジオフラッシュ、そし
てGodox 2.4GHzワイヤレスXシステムを搭載したレトロフラッシュを制御することも可能
です。

X1R-Sと組み合わせると、X3 SはSonyカメラフラッシュを制御できます。32チャンネル
と99のIDを備えた優れた抗干渉機能により、複雑な環境での安定したパフォーマンスが可
能で、写真家により柔軟性と可能性を提供します。

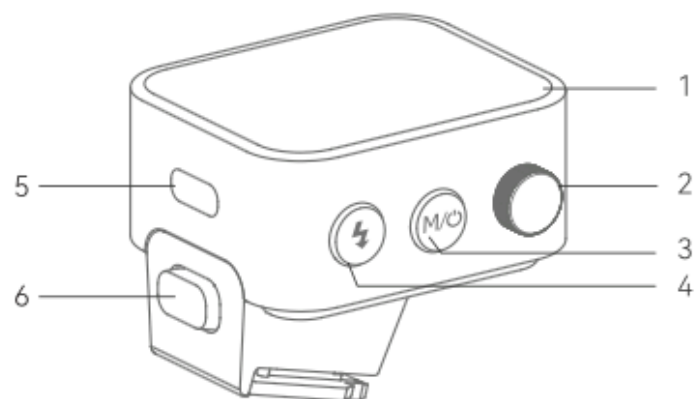
警告

- 本製品を分解しないでください。修理が必要な場合は、この製品は弊社か認
定のメンテナンスセンターに送られる必要があります。
- 本製品は常に乾燥させて保管してください。雨や湿気のある環境で使用しな
いでください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 引火性および爆発性の環境では使用しないでください。関連する警告標識に
注意してください。
- 周囲の温度が50°Cを超える場合、本製品を放置・保管しないでください。
- もし何か不具合が発生した場合は、すぐに電源を切ってください。

各部の名前

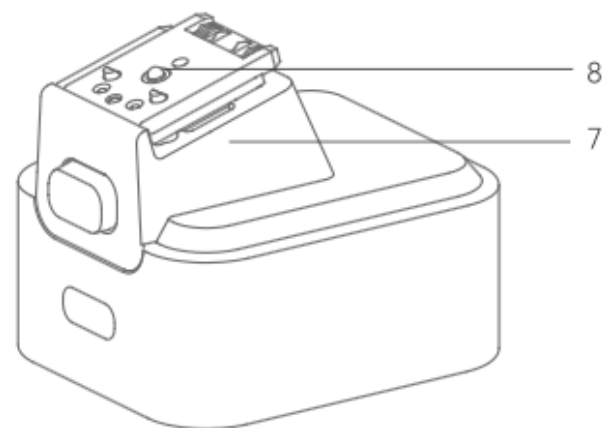
本体

1. タッチスクリーン
2. セレクトダイヤル
3. M/電源ボタン
4. テストボタン
5. USB-C チャージ/
ファームウェアアップグレード
用ポート
6. 設置/解除ボタン



7. 取付口
8. ホットシューカメラ連結部分

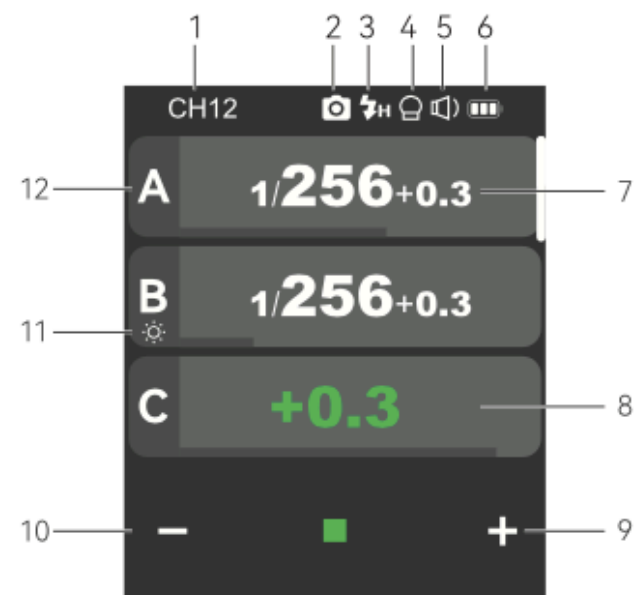
※異常が発生した場合
セレクトダイヤルとテストボタン
を同時に押すと、器機のシステム
をリセットできます。
再起動するにはM/電源ボタンを
長押しします。



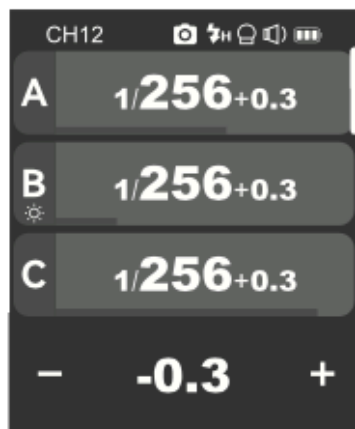
5

画面

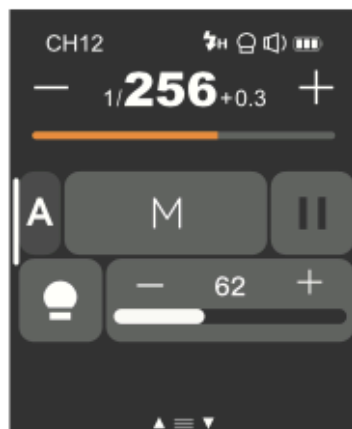
1. チャンネル (32)
2. カメラ接続
3. ハイスピードシンクロ
4. モデリングランプ
マスターコントロール
5. ブザー
6. 電池残量インジケータ
7. 出力値
8. 露出補正值
9. パラメーター<+>
10. パラメーター<->
11. グループモデリングランプ
12. グループ



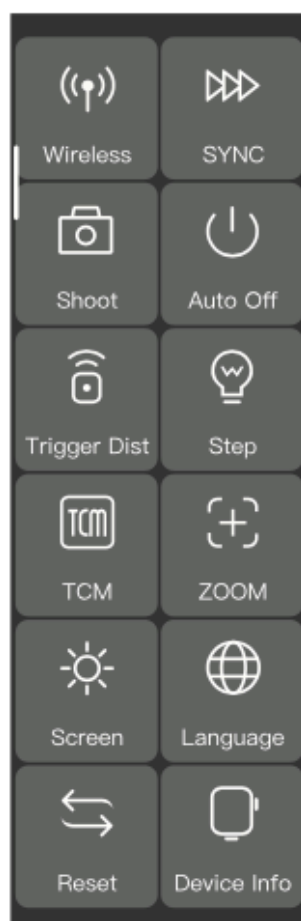
6



マルチグループ画面



シングルグループ画面



C.Fn.メニュー設定画面

操作説明

タッチ操作

1. 画面上のパラメーターはタッチ操作で調整できます。
2. メイン画面では、スクリーンを上下にスライドして、出力や複数のグループの露出値を確認できます。
3. メイン画面からマルチグループ画面に切り替える場合、画面を上から下にスライドさせて<Multi>を表示し、それを押してマルチグループ設定に入ります。
4. マルチグループ画面からメイン画面に切り替える場合、画面を上から下にスライドさせて<Home>を表示し、それを押してメイン画面に入ります。
5. シングルまたはマルチグループ画面で、画面を上から下にスライドさせて<Setting>を表示し、それを押すとC.Fn.メニュー設定画面（機能設定）に入ります。
6. C.Fn.メニュー設定画面からメイン画面に戻るには、画面を左から右にスライドさせてください。
7. サブメニュー画面で、スクリーンを左から右にスライドさせることで、ひとつ前のメニュー画面に戻ることができます。
8. シングルグループ画面では、画面を左から右にスライドさせるとマルチグループ画面に切り替えることができます。
9. シングルグループ画面では、画面を上下にスライドさせるとグループを切り替えることができます。
10. シングルグループ画面では、<M>を押すと、TTLオートフラッシュモードに切り替わり、<TTL>を押すと手動発光モードに切り替わります。
11. プログレスパーをスライドさせて、出力値や露出補正值を素早く調整することができます。
12. <->を押すと値を減らし、<+>を押すと値を増やすことができます
13. 鍵のアイコンを押すと画面がロックされます。画面に「Press for 2s to unlock」と表示されたら、2秒間画面を長押ししてロックを解除できます。
14. モデリングランプやブザーのアイコンを押して、それらが点灯している場合は、その機能がONになっていることを意味します。消えている場合は、その機能がOFFになっています。

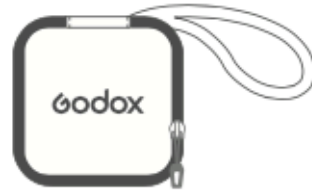
内容品



フラッシュトリガー



USB-C 充電ケーブル



収納バッグ

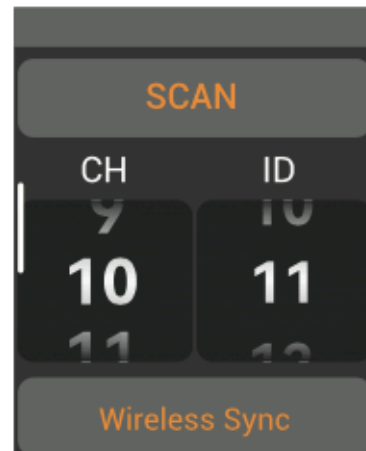


取扱説明書

ワイヤレスレトロカメラフラッシュトリガーとしての使用方法

例：Godox Lux Master

1. カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに取り付けます。次にフラッシュトリガーとカメラの電源を入れます。
2. X3 Sの画面を上から下にスライドさせて<Setting>を選択し、C.Fn. メニュー設定画面に入り<Wireless>を押してCHとIDを設定します。
3. 画面を左から右にスライドさせて、メイン画面に戻ります。
4. フラッシュモードとグループの出力値を設定できます。



5. レトロカメラフラッシュLux MasterをONにします。
6. Mボタンを押し、メイン画面に入り、セレクトダイヤルをワイヤレスに合わせます。
7. セットボタンを押してワイヤレス画面に入ります。

- A: スクリーンをスライドしてCH、GR、IDを設定します。その後、パラメータを設定します。フラッシュのチャンネルとIDはトリガーと同じに設定してください。
- B: フラッシュトリガーの「Wireless Sync」とLux Masterのワイヤレスシンクアイコンを押すと、両機器のチャンネルとIDを同じに設定することができます。

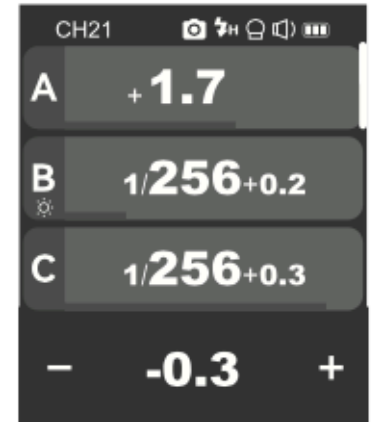
8. カメラのシャッターを押して発光します。



ワイヤレスカメラフラッシュトリガーとしての使用方法

例：Godox V1 フラッシュシリーズ

1. カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに取り付けます。次にフラッシュトリガーとカメラの電源を入れます。
2. X3 Sの画面を上から下にスライドさせて<Setting>を選択し、C.Fn. メニュー設定画面に入り<Wireless>を押してCHとIDを設定します。
3. 画面を左から右にスライドさせて、メイン画面に戻ります。
4. フラッシュモードとグループの出力値を設定できます。



- V1フラッシュをONにし、ワイヤレス設定ボタンを押します。
- V1フラッシュのLCDパネルに<RX>やワイヤレスアイコンが表示されます。
- <MENU>ボタンを押してC.Fn.メニュー画面に入り、チャンネルとIDをフラッシュトリガーと同じ設定にします。



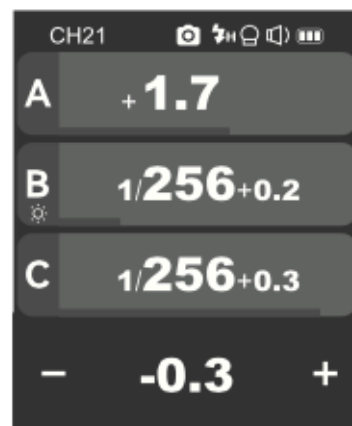
注：他のモデルのカメラフラッシュを設定する場合は、関連する取扱説明書を参照してください。

- カメラのシャッターを押して発光します。

ワイヤレスアウトドアフラッシュトリガーとしての使用方法

例：Godox AD600Pro

- カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに取り付けます。次にフラッシュトリガーとカメラの電源を入れます。
- X3 Sの画面を上から下にスライドさせて<Setting>を選択し、C.Fn.メニュー設定画面に入り<Wireless>を押してCHとIDを設定します。
- 画面を左から右にスライドさせて、メイン画面に戻ります。
- フラッシュモードとグループの出力値を設定できます。



- アウトドアフラッシュをONにし、ワイヤレス設定ボタンを押します。
- アウトドアフラッシュのLCDパネルにワイヤレスアイコンが表示されます。
- <GR/CH>ボタンを長押ししてチャンネルを、もう一度<GR/CH>ボタンを押してグループをフラッシュトリガーと同じ設定にします。



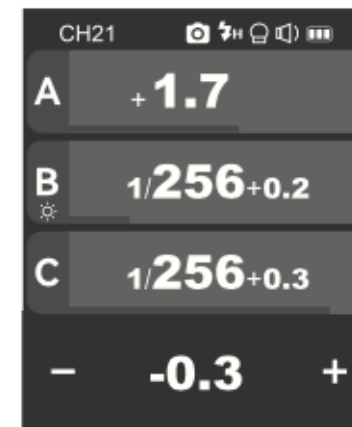
注：他のモデルのアウトドアフラッシュを設定する場合は、関連する取扱説明書を参照してください。

- カメラのシャッターを押して発光します。

ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとしての使用方法

例：Godox QTIII

- カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに取り付けます。次にフラッシュトリガーとカメラの電源を入れます。
- X3 Sの画面を上から下にスライドさせて<Setting>を選択し、C.Fn.メニュー設定画面に入り<Wireless>を押してCHとIDを設定します。
- 画面を左から右にスライドさせて、メイン画面に戻ります。
- フラッシュモードとグループの出力値を設定できます。



5. スタジオフラッシュを電源に接続し電源を入れます。
6. MODE/ワイヤレスボタンを押して、ワイヤレスアイコンをパネルに表示させ、2.4GHz ワイヤレスモードに入ります。
7. <GR/CH>ボタンを長押ししてチャンネルを、もう一度<GR/CH>ボタンを押してグループをフラッシュトリガーと同じ設定にします。

注：他のモデルのアウトドアフラッシュを設定する場合は、関連する取扱説明書を参照してください。

8. カメラのシャッターを押して発光します。

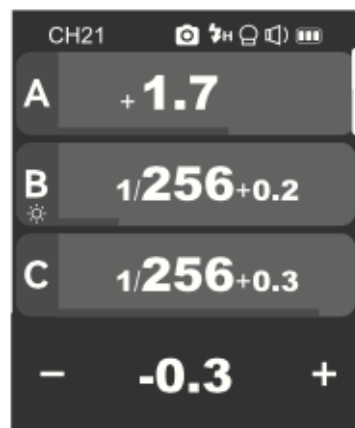
注：スタジオフラッシュの最小出力値は1/32なので、フラッシュトリガーの出力値は1/32以上に設定する必要があります。スタジオフラッシュにはTTLおよびマルチフラッシュ機能がないため、フラッシュトリガーは手動発光モードにしてください。



ワイヤレスオリジナルフラッシュトリガーとしての使用方法

例：Sony HVL-F45RM

1. カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに取り付けます。次にフラッシュトリガーとカメラの電源を入れます。
2. X3 Sの画面を上から下にスライドさせて<Setting>を選択し、C.Fn. メニュー設定画面に入り<Wireless>を押してCHとIDを設定します。
3. 画面を左から右にスライドさせて、メイン画面に戻ります。
4. フラッシュモードとグループの出力値を設定できます。



5. オリジナルのフラッシュをX1R-S レシーバーに取り付けます。
6. レシーバーの<CH>ボタンを押して、フラッシュトリガーと同じチャンネルに設定します。
7. レシーバーの<GR>ボタンを押して、フラッシュトリガーと同じグループに設定します。

注：オリジナルフラッシュを設定する際は、関連する取扱説明書を参照してください。

8. カメラのシャッターを押して発光します。

注：X1R-S は別売りです。



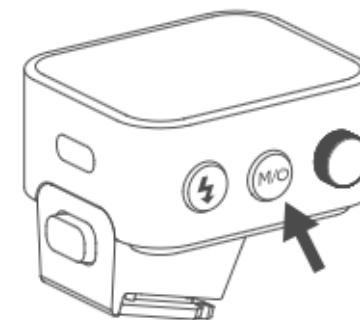
電源ボタン

パネルに「Godox」アイコンが表示されるまでM/電源ボタンを押し続けると、電源がONになります。

M/電源ボタンを押し続け、パネルに何も表示されなくなると電源がOFFになります。

注：電力消費を避けるため、使用しないときは電源を切ってください。スタンバイ時間（30分/60分/90分）を設定できます。

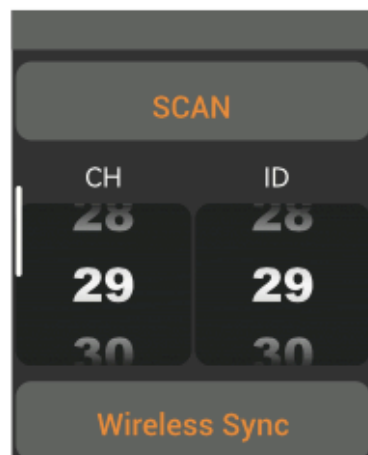
フラッシュトリガーの電池残量が少ない場合は、充電してから使用してください。



チャンネルの設定方法

1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <Wireless>を押してワイヤレス設定に入ります。左側の<CH>をスライドさせてチャンネルを1~32から設定します。メイン画面に戻るには、画面を左から右にスライド、またはM/電源ボタンを押します。

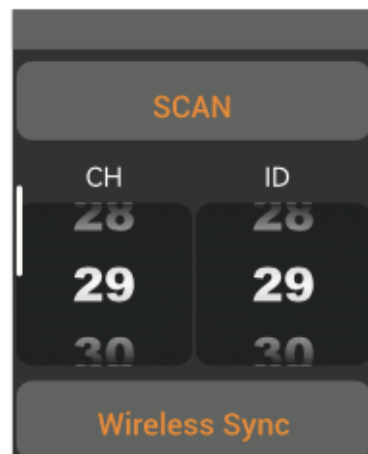
注：フラッシュトリガーとレシーバーを同じチャンネルに設定してから使用してください。



IDの設定方法

干渉を避けるためにチャンネル変更だけでなく、IDを変更することもできます。

1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <Wireless>を押してワイヤレス設定に入ります。右側の<ID>をスライドさせてIDをOFFまたは1~99から設定します。メイン画面に戻るには、画面を左から右にスライド、またはM/電源ボタンを押します。



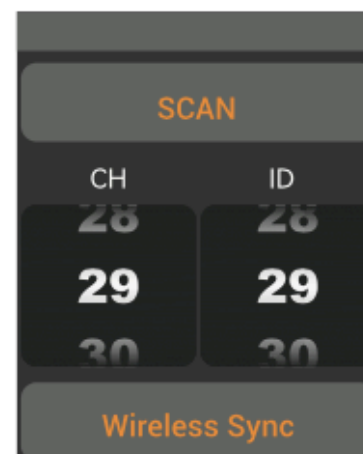
ワイヤレスの同期方法

X3 SがLux Masterを制御して発光させる場合、ワイヤレス同期機能により、両方のチャンネルとIDを素早く同期設定することができます。

まずフラッシュトリガーの「Wireless Sync」を押します。

次に、Lux Masterの「Wireless Sync」アイコンを押します。

注：ワイヤレス同期を有効にするには、ワイヤレス機能をオンにする必要があります。



スペアチャンネルスキャンの設定

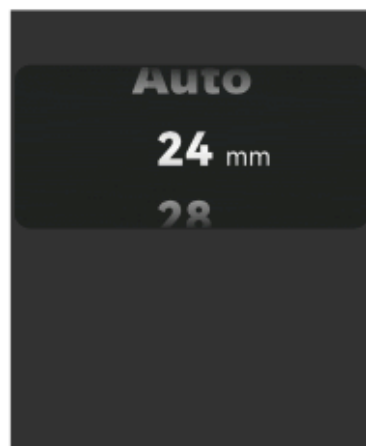
スペアチャンネルスキャン機能は、同じチャンネルを使用している他のユーザーからの干渉を避けるのに便利です。

1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <Wireless>を押してワイヤレス設定に入ります。左側の<SCAN>を押してスキャンを開始します。スキャン後、6つのスペアチャンネルが画面に表示されます。希望のチャンネルをクリックすると、フラッシュトリガーは自動的にそのチャンネルに設定されます。



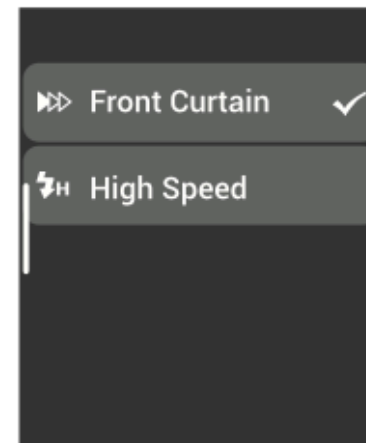
ズーム (ZOOM) の設定

1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <+>を押してズーム設定画面に入ります。ズーム値をスライドしてAutoまたは24~200mmから選択します。



シンクロ設定

1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <SYNC>を押してシンクロ設定に入ります。「先幕シンクロ (Front Curtain)」と「ハイスピードシンクロ (High Speed)」を選択できます。
3. 「後幕シンクロ」はカメラ側で設定してください。



撮影モードの設定

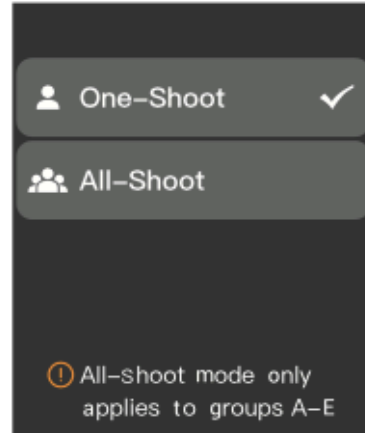
1. メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。
2. <Shoot>を押して撮影モード設定画面に入ります。「ワンショット撮影モード」と「オールショット撮影モード」を選択できます。

ワンショット撮影モード (One-Shoot) :

手動発光 (M) およびMultiモードで、リードユニットはフォローユニットに発光信号の送信のみ行います。
省電力の利点から個人での撮影に適しています。

オール撮影モード (All-Shoot) :

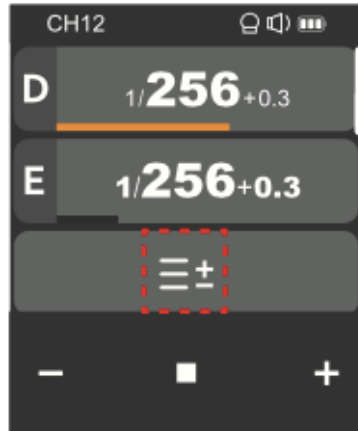
リードユニットはフォローユニットに各パラメーターと発光信号の送信を行います。
こちらは複数人での撮影に適しています。ただし、消費電力は高くなります。



グループの設定

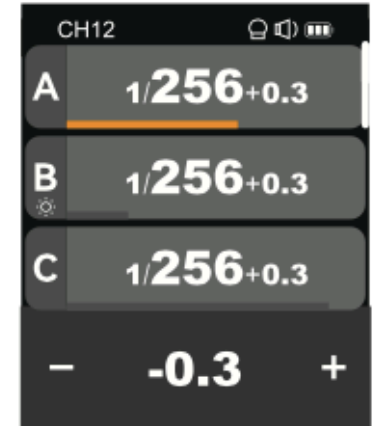
1. グループの選択

メイン画面で、<≡±>が画面に表示されるまで画面を下にスライドし、アイコンを押してグループ選択設定画面に入ります。A~F または 0~9からグループを選択してください。



2. マルチグループ画面での設定

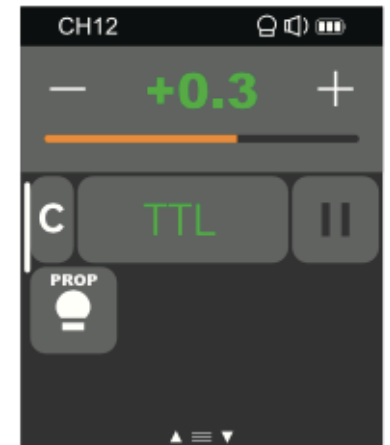
グループ選択後、メイン画面にて各グループのパラメーターが表示され、各グループの出力値を確認することができます。



3. シングルグループ画面での設定

メイン画面で特定のグループの出力値を押して、そのグループの出力値、フラッシュモード、モデルランプなどの詳細を設定します。

シングルグループ画面では、画面を上下にスライドさせることでグループを切り替えることができます。



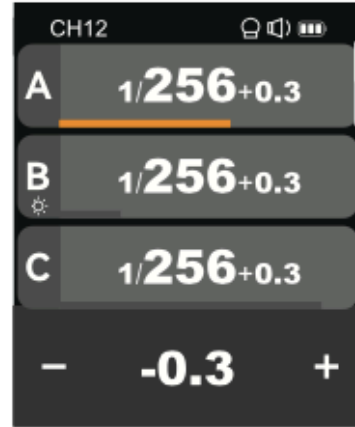
出力値の設定

マルチグループ画面（Mモード）での設定

<+>を押すと各グループの出力値が同時に上がり、<->を押すと各グループの出力値が同時に下がります。値は最小から1/1、または最小から10まで0.1または1/3目盛り刻みで増減します。

マルチグループ画面にて、いずれかのグループの出力値が最大または最小に達した場合、それ以上増減させることはできません。

プログレスバーをスライドさせて、素早く出力値を調整することもできます。



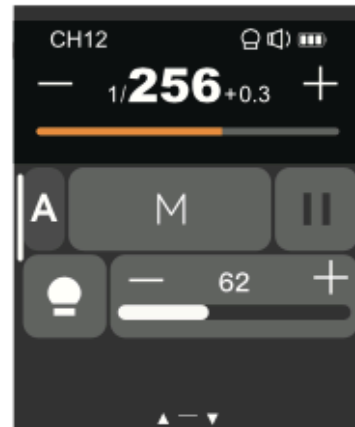
シングルグループ画面（Mモード）での設定

<+>を押すと各グループの出力値が同時に上がり、<->を押すと各グループの出力値が同時に下がります。値は最小から1/1、または最小から10まで0.1または1/3目盛り刻みで増減します。

プログレスバーをスライドさせて、素早く出力値を調整することもできます。

注：Mは手動発光モードを意味します。

注：Min.は、手動発光またはストロボ発光モードで設定できる最小値を意味します。最小値は1/128、1/256、1/512、3.0、2.0、または1.0に設定できます。



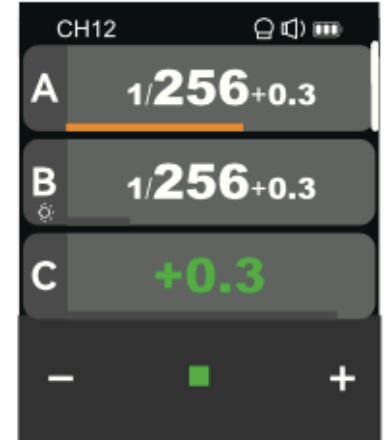
フラッシュ露出補正の設定

マルチグループ画面（TTLモード）での設定

<+>を押すと各グループのフラッシュ露出補正値が同時に上がり、<->を押すと各グループのフラッシュ露出補正値が同時に下がります。値は-3から3まで1/3目盛り刻みで増減します。

マルチグループ画面にて、いずれかのグループのフラッシュ露出補正値が最大または最小に達した場合、それ以上増減させることはできません。

プログレスバーをスライドさせて、素早くフラッシュ露出補正値を調整することもできます。



シングルグループ画面（TTLモード）での設定

<+>を押すと各グループのフラッシュ露出補正値が同時に上がり、<->を押すと各グループのフラッシュ露出補正値が同時に下がります。値は-3から3まで1/3目盛り刻みで増減します。

プログレスバーをスライドさせて、素早くフラッシュ露出補正値を調整することもできます。

注：TTLはオートフラッシュモードを意味します。



ストロボ発光の設定

メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Multi>を表示し、押してストロボ発光設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Multi>を選択してストロボ発光設定画面に入ります。

1. 出力値の設定

<+>を押すと出力値が上がり、<->を押すと出力値が下がります。

値は最小から1/4、または最小から8.0まで整数刻みで増減します。

プログレスバーをスライドさせて、素早く出力値を調整することもできます。

2. 発光回数の設定

左の列<Times>をスライドさせ、発光回数を1~100の間で調整します。

3. 発光周波数の設定

右の列<HZ>をスライドさせ、発光周波数を1~199の間で調節します。

4. グループ A/B/C/D/E

特定のグループまたは複数のグループ（最大5グループ）を選択できます。

注：

1. 発光回数は出力値と発光周波数によって制限されるため、システムが許容する上限を超えることはできません。受信側に転送される回数は、カメラのシャッター設定にも関係する実際の発光回数です。

2. Min.は、手動発光またはストロボ発光モードで設定できる最小値を意味します。最小値は1/128、1/256、1/512、3.0、2.0、または1.0に設定できます。



モデリングランプの設定

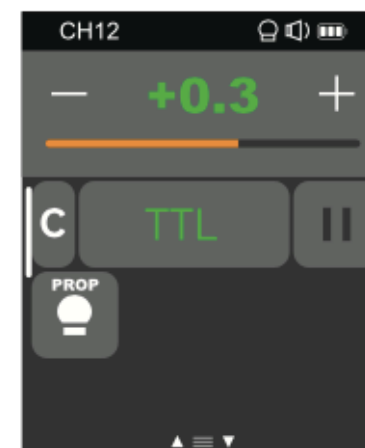
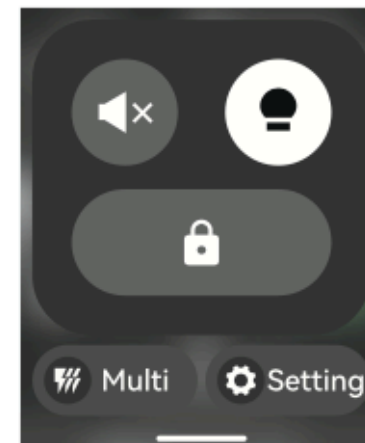
1. マルチグループ画面で、画面を上から下にスライドし、モデリングランプアイコンを表示し、押してモデリングランプのON /OFFを設定します。

注：いずれかのグループでモデリングランプが消灯している場合、その他のグループと一緒にON/OFFすることはできません。

1. シングルグループ画面で、モデリングランプアイコンを押して、ON /OFF/ PROP自動モードを選択できます。

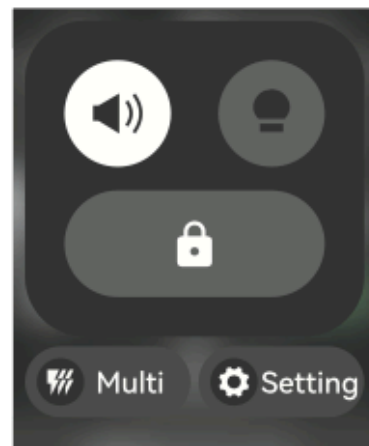
注：モデリングランプがPROP自動モードに設定されている場合、その明るさはフラッシュの明るさに同期して変化します。

モデリングランプがONの時、<+>を押すと輝度が上がり、<->を押すと輝度が下がります。または、プログレスバーをスライドさせて、明るさを10 から100まで素早く調整できます。



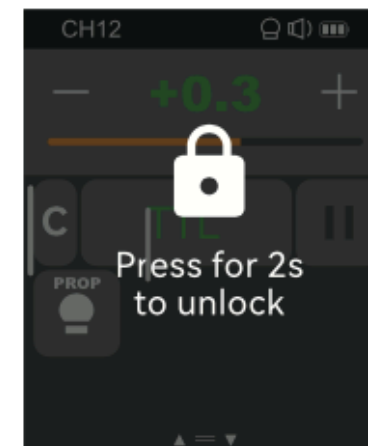
ブザーの設定

メイン画面で、画面を上から下にスライドしてブザーアイコンを表示し、または、M/電源ボタンを押してパネルに表示されたブザーアイコンを選択してブザーのON /OFFを切り替えます。



画面ロック機能の設定



メイン画面で、画面を上から下にスライドしてロックアイコンを表示、またはM/電源ボタンを押してパネルに表示されたロックアイコンを選択します。スクリーンに「Press for 2s to unlock」が表示されたら、画面がロックされ操作ができないことを意味します。画面またはセレクトダイヤルを2秒間長押しするとロックが解除されます。







カスタム機能 (C.Fn.) の設定

メイン画面で、画面を上から下にスライドして<Setting>を表示し、押してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。または、M/電源ボタンを押してパネルに表示された<Setting>を選択してC.Fn.メニュー設定画面に入ります。

次ページの表は、使用が可能な機能と不可能な使用できないカスタム機能の一覧です

機能符号	設定符号	設定内容
 Wireless	CH	32チャンネルから選択
	ID	OFF、または1~99から選択
 SYNC	Front Curtain	先幕シンクロ
	High Speed	ハイスピードシンクロ
 Shoot	One-Shoot	リードユニットはフォローユニットに発光信号のみ送信
	All-Shoot	リードユニットはフォローユニットに各パラメータと発光信号を送信
 Auto Off	"Auto Off" ON	30分 60分 90分から選択
	"Auto Off" OFF	オートオフなし
	30 min	30分
	60 min	60分
	90 min	90分
 Trigger Dist	0-30m	0~30m
	1-100m	1~100m
 Step	Min. Power	最低出力：1/128、1/256、1/512、3.0、2.0、1.0
	Step	0.3：1/3刻み
		0.1：0.1刻み
 TCM	OFF	TCM機能OFF
		TT685II/V860III series
	100j	AD100PRO
	200j	AD200
	300j	AD300Pro

機能符号	設定符号	設定内容
	400j	AD400Pro
	600j	AD600, AD600Pro
	1200j	AD1200Pro
 ZOOM	Auto	オートフォーカス
	24mm	焦点距離：24mm
	28mm	焦点距離：28mm
	35 mm	焦点距離：35mm
	50mm	焦点距離：50mm
	70 mm	焦点距離：70mm
	80mm	焦点距離：80mm
	105mm	焦点距離：105mm
	135 mm	焦点距離：135mm
200 mm	焦点距離：200mm	
 Screen	Brightness	プログレスバーで調整
	Standby Time	15秒、30秒、1分、2分、3分
 Language	中文	中国語
	English	英語
 Reset	Apply	初期化実行
	Cancel	初期化キャンセル

ファームウェアのアップグレード

- 本製品のファームウェアアップグレードはUSB-Cケーブルを使ってください。
- ファームウェアの更新はホームページをご確認ください。
- 本製品のファームウェアをアップグレードする時に、Godox G3プログラムソフトウェア V1.1のサポートが必要です。ファームウェアをアップグレードする前に、「Godox G3ファームウェアアップグレードソフトウェア V1.1」をダウンロード・インストールしてから、相応するファームウェアを選択してください。

アップグレード方法：

電源ONの場合、X3 SをUSB-Cケーブルでコンピュータに接続し、「Firmware Upgrade」をクリックして、アップグレードを開始します。

電源OFFの場合、セレクトダイヤルを長押しし、USB-CケーブルでX3 Sをコンピュータに接続し、ファームウェアアップグレードに入ります。

注：ファームウェアをアップグレード後は、最新電子バージョンの取扱説明書をご参照ください。

アップグレード中に異常が発生した場合、送信機の画面が黒くなります。解決策は USBケーブルを再度差し込みテストボタンとセレクトダイヤルを同時に長押しします。

その後「アップグレード中」と表示されるまで、テストボタンのみを離します。

USBケーブルで正常にアップグレードできます。